

■平成28年度執行目標（達成状況） 健康福祉部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画等	H28年度 実績値	H28年度 目標値
健康福祉部	社会福祉課	1	民生委員一斉改選の実施	民生委員は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるものとされている。任期は、3年と定められており、平成28年11月をもって任期が満了するため、新たな委員の選出に向けた事務を行う。民生委員定数138名のとおりに、100%の充足率を目指す。	概ね達成	平成28年度民生委員一斉改選は、委員定数138名のとおりに100%充足率を達成できた。地域における福祉ニーズは年々増大、多様化している中、民生委員の果たす役割はますます大きくなり、委員のなり手不足は全国的に深刻となっている。今後、より委員が活動しやすい環境づくりを進め、活動に対する住民の理解を深めていくことが必要である。	選出委員 (人)		138	138
健康福祉部	社会福祉課	2	障害福祉サービスの適正化	障害福祉サービス請求に係る審査事務において、提供時間の重複しているサービス請求などを検出するサポートシステムを導入し、審査事務のチェック体制を強化することにより、支出の適正化と経費節減を図る。	概ね達成	サポートシステムを導入し、請求時にデータの審査を行い、重複等により検出された請求に対し返戻を行った。システムの導入により、一定の適正化の効果があつた。現在、システムのチェック機能のすべての活用には至っておらず、一層の活用が今後の課題となっている。				
健康福祉部	くらしサポート課	1	「就労準備支援事業活用による自立支援」の強化	稼働能力を有する被保護世帯に対して、就労支援員による相談を通じて自立に向けた就労指導を行う。（ハローワークとの連携を強化）また、就労支援準備該当者についても中間的就労（就労体験・軽作業）への参加を呼びかけ就労意欲向上を図る。ニート・引きこもり等に対して居場所づくり事業に参加促進、金銭管理の困難者に家計簿（収支管理）の相談支援を行う。	概ね達成	平成29年3月末における就労支援対象者数が49名となり昨年9月末時点から16名増加した。ハローワークとの連携を行い就労支援が24名（9名増）、定着支援が15名（4名増）、準備支援が2名、その他転出等による支援終了が8名となった。就労支援準備該当者2名については、中間的就労（就労体験・軽作業）1名は継続就労ができているがもう1名は中断している為、再度呼びかけを実施する。ニート・引きこもり等に対する居場所づくり相談、臨床心理士訪問面接を実施した。	就労決定者 数（人）		26	30
健康福祉部	くらしサポート課	2	生活困窮者自立支援事業の推進	稼働年齢層の生活困窮者等に対して、就労支援員による寄添い支援や多方面の支援を通じて、困窮状態からの脱却をめざす。また、就労準備支援の必要な離職者や未就労者についても中間的就労（職業体験・軽作業）への参加を促し就労意欲の向上を図る。ニート・引きこもり等対策に各種団体等の連携によりアウトリーチを行い支援を行う。生活困窮者・被保護者世帯の子どもの学習支援により、学習の機会を与え貧困の連鎖とならないよう対策を講じる。	概ね達成	生活困窮者の多様なニーズに応えるため相談支援員、就労支援員を中心に各種支援機関や協力企業等を利用しながら生活困窮者の自立支援に向けての支援を行った。平成28年度の就労増収となった件数は14件であった。課題としては引きこもり等の見えない困窮者やその予備軍への支援強化でありアウトリーチ強化が必須である。	新規相談平均 件数（件／月）		4	11
健康福祉部	高齢介護課	1	介護予防・生活支援サービスの充実	平成29年4月から実施する総合事業への移行に向け、新たな担い手の確保や、地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行い、高齢者のニーズに沿った介護予防・生活支援サービスの創出につながる基盤体制づくりを行い、地域包括ケアシステムの構築を進める。	概ね達成	総合事業モデル地区を各圏域毎に選定し、集いの場づくりを推進した。モデル地域が主体的に地域づくりに参画できるよう支援した結果、2圏域において集いの場の創設に至った。さらに3圏域目の取り組みを現在進めている。集いの場の運営においては、市が新たな担い手として養成した介護予防サポーターによる取り組みが実施されている。				
健康福祉部	高齢介護課	2	認知症カフェ事業	木津川市内の認知症と診断された方または認知症に不安のある方及びその家族を対象に、交流できる居場所として、木津、加茂、山城地域に1か所ずつ認知症カフェを設置する。	概ね達成	木津、加茂、山城の各地域において、カフェや医院などのスペースを借り、認知症カフェを開催した。当事者に対しては、介護サービスを受けるまでの支援や介護者とともに外出でき交流できる場として、閉じこもり及び認知症の進行を予防することができた。また、介護者に対しては、介護者同士の交流や専門職の出会いにより、介護負担の軽減につながった。今後、身近なところ（各圏域に1箇所）に設置することで、初期の段階での支援につながる。				
健康福祉部	高齢介護課	3	介護保険料収納率の向上	適正な介護保険運営を実施し、被保険者の公平性を確保するため介護保険料収納率の向上に努める。昨年度に引き続き、現年分未納者への「督促状」及び「未納のお知らせ」を送付し、納付を促すとともに、65歳到達の未納者に対し、電話や訪問による徴収に取り組む。また、平成26年度債権管理台帳の活用と、財産調査の結果に基づく滞納整理に取り組む収納率の向上に努めていく。	概ね達成	現年分未納者に対する「督促状」と「未納のお知らせ」の発送により、介護保険料収納率の向上に努めた。65歳到達の未納者へは電話催告や訪問を実施した。また、27年度債権管理台帳も作成できた。滞納処分について、関係課と協議を実施し、年度末の財産調査の結果に基づく対象者に「差押予告通知書」を送付した結果、納付成果を得ることができ、目標値（現年分）には達しない見込みであるが、滞納繰越分の収納率は前年度に比べ3.6ポイントの伸びがあつた。	現年度普通徴収 収納率（%）		(92.3)	93.5
健康福祉部	こども宝課	1	待機児童の解消対策等ガイドラインの推進	保育コンシェルジュを配置し、待機児童の解消等を図ります。また、「待機児童の解消対策等ガイドライン」の推進を図り保育所民営化等の実施計画を策定します。	概ね達成	保育コンシェルジュを配置し、関係機関と連携し待機児童の解消等を図った。「待機児童の解消対策等ガイドライン」等に基づき関係機関と協議を行い、「木津川市公立保育所民営化等実施計画（案）」を作成、パブリックコメントを募集し、意見に対する市の考え方をまとめた。今後は、子ども・子育て会議に諮り、結果を公表する。				
健康福祉部	こども宝課	2	放課後児童クラブの施設改善	上粕児童クラブ・棚倉児童クラブ施設の老朽化に伴い改築を行う。	概ね達成	上粕児童クラブ・棚倉児童クラブ施設を小学校の整備に併せて改築を行った。上粕児童クラブは、竣工し移転を完了したが、棚倉児童クラブ施設については、熊本地震の影響により物資調達に時間を要し、建築工事終了が遅れ4月竣工予定で、その後移転する事となる。				
健康福祉部	こども宝課	3	保育料の収納対策	子育て世帯の保育料の軽減を図るため、階層区分等の検討を行い、収納率の向上を目指す。	一部未達成・成果小	幼児教育の無償化拡大を行い、子育て世帯の保育料の軽減を図り、収納率が向上した。今後は、課題である階層区分の見直しや、みなし寡婦等を検討し、さらなる収納率の向上を図る。				

■平成28年度執行目標（達成状況） 健康福祉部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画等	H28年度 実績値	H28年度 目標値
健康福祉部	健康推進課	1	すこやか木津川 21プランの推 進	乳幼児から高齢者にいたるまで、市民一人ひとりが健やかで心豊かに暮らせるために、循環器疾患等の予防啓発や禁煙、受動喫煙防止の啓発、食育推進の取り組み等を行うとともに、計画の評価と中間見直しを行う。	概ね達成	相楽医師会の協力により「健康エッセイ」を広報に毎月掲載した。また、各中学校での防煙教室の支援を行った。食育については、小中学生対象のレシピコンテストを実施し、入賞作品の飲食店での商品化や、市民へのレシピ配布により食育普及を行った。すこやか木津川21プランの中間評価を行い、目標数値の見直しを実施した。				
健康福祉部	健康推進課	2	がん検診の受診 率向上	がん検診の受診率向上のために、実施形態等の見直し検討を行う。	概ね達成	平成30年度から実施する、乳がん、子宮頸がん検診の通年施行等の方向性や、平成30年度に新たなステージに入るがん検診の総合支援事業を、総合がん検診事業と同時に行っていくことを決定した。				